

46

お名前 <small>とみやす けいいち</small> 富安 敬一	性別 男性	満年齢 73歳	終戦時の年齢 8歳	現住所 八名井
--	----------	------------	--------------	------------

八名井国民学校2年生

① 8月15日は、どこでどんなことをしていましたか。

8月15日は暑い日で、晴れの日だったと思います。学校が休みだったので家で遊んでいました。

② 終戦のことを、どこで、どのように聞かれましたか。

学校は休みだったので、おじいさん、おばあさんとラジオで天皇陛下てんのうへい かの放送を聞いたと思います。父母は山へ出かけ、青草しよいこを背負子せおで背負いながら帰って来ました。父母に日本が負けたと知らせた覚えがあります。12時30分頃ごろだったと思います。

③ 敗戦を知らされた時の気持ちやその時の様子

日本が負けて、大変なことだと思いました。「米軍が上陸してきたらどうしよう。捕まるのではないか？」等、不安で気持ちが動転していたと思います。

④ 体験の中で、子どもたちに語り伝えておきたいこと

「八名井国民学校のこと」

○ 学 校 愛知県八名郡八名村八名井国民学校

入学したのは、昭和19年4月1日でした。教室は二つだけで、職員室と宿直室がありました。学級は、1・2年複式で14名、3・4年も複式学級でした。教室は2教室だけで、5・6年生になると清水野小学校へ行っていました。

○ 学校の状況（1～2年生の頃のこと）

- ・朝礼 校長先生のあいさつは、戦争のことが多かったです。
いつも皇居こうきよの方（東側）に向かって敬礼けいれいをしました。
- ・私が入学した頃は、小さな運動場も耕されて、サツマイモを作っていました。
ですから、遊ぶ場所はなかったし、運動会もできないありさまでした。
給食もなかったの、昼は家に帰って食べました。
- ・1・2年生のクラスでは、3人疎開そかいしてきました。東京と豊橋から疎開してきた子がいたことを覚えています。
- ・授業きびは厳しく、女の先生でもよくチョークが飛んできました。

○ 見たこと、体験したこと

- ・空襲くうしゆうがある時は、B29が飛行機雲を出しながら編隊を組んで飛んでいきました。いくつかの編隊が、低空きちじゆうを飛んで吉祥山の上を富岡の方に向かっていくことがあり、空襲が終わった編隊だと思いました。
- ・本宮山ほんみやまに日本の戦闘機せんとう き けわりが煙けいをはきながら真っ逆さまついらくに墜落えじましたこと、江島えじまに焼夷弾しょういだんが落ち、何軒なんけんか被害ひがいにあったことを覚えています。

- ・豊橋の空襲は夜だったので、空が赤く染まり、昼間のように明るくなり、町が燃えているのがよく分かりました。
- ・空襲で、米軍の艦載機のグラマン*1 が低空で機銃掃射で撃ってきたことがありました。学校から家へ帰る途中で、ものかげにかくれながら帰りました。怪我をする人はいませんでしたが、なんでこんな田舎なのに撃ってくるのかと思いました。
- ・夜中に空襲警報が出ると、電球に黒い紙袋をつるし、光がもれないようにしました。

○ 防空壕

防空壕は、各家庭で掘って作り、空襲のたびごとに入りました。我が家の防空壕は、山手についたところがあり、家族みんなで掘って作りました。5尺四方（約1m50cm）ぐらいで、高さも少しかがむぐらいで、上に丸太を置き土をかぶせてありました。4、5人は入れました。

○ 豊川海軍工廠

豊川海軍工廠へは、いところに行っていました。空襲があった日は、家のガラス戸がビリビリ音をたて、割れそうぐらいに揺れました。その日、いところはタイプを打っていました。空襲警報の合図で防空壕に避難しようとしたのですが、人でいっぱいに入れず、重要書類を抱えたまま逃げ回ったそうです。



（富安敬一さん 所蔵）

▲ いところを使った竹かぶと

何とか千両の方へ逃げることができ、ふと書類を見ると爆弾の破片が突き刺さっていたそうです。書類のおかげで命が助かったと言っていました。いところは、その日の4時ぐらいに竹かぶとをかぶり、はだしで歩いて帰ってきました。

○ 東南海地震

昭和19年12月7日に、東南海地震*2 がありました。その時はちょうど清水野小学校で村葬が行われていた時で、八名井の小学生もみんなで参列していました。ものすごい揺れにびっくりし、立ってられなくてみんな座りこんで揺れがおさまるのを待ちました。運動場が波うって見え、センダンの木がガサガサ大きな音を立てました。祭壇もくずれました。

学校から帰る時、一鍬田からの県道のあちこちに地割れが何カ所も入っていました。15cmから30cmぐらいの地割れやひびをとび越えながら帰りました。

*1 P-126-参照

*2 午後1時36分発生、マグニチュード7.9 震源地は熊野灘沖。

富安敬一さんのアルバムから



▲ 昭和14年頃の八名井小学校



▲ 昭和4年頃の八名井の子どもたち



▲ 昭和8年 自宅で近所の子どもたちと



▲ 昭和18年 工廠近くの神社の祭りで

おばあさんと敬一さん。敬一さんの帽子は戦闘帽で、戦争の影響がみられます。